

# 業務のご案内

ディスクロージャー誌 2010



平成22年8月期

J A しもつけ

# 目 次

1. 組合長ご挨拶	1
2. 地域貢献に関する取り組み	2
3. 金融再生法開示債権	7
4. 自己資本比率	7
5. 主要勘定の状況	8
6. 有価証券等時価評価情報	8
7. 平成22年度上半期のトピックス	9

## 1. 組合長ご挨拶

皆様には、平素より私ども J A しもつけをご利用いただき誠にありがとうございます。  
とうございます。

当 J A は地域の皆様から多大なる信頼をいただき、平成 22 年 8 月末において、貯金残高は 1,817 億円となりました。また、貸出金残高については 297 億円、預け金残高については 1,367 億円、有価証券残高については 106 億円となり、皆様からお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視した上で資産運用しております。

また、健全経営のバロメーターである自己資本比率は 16.15% 程度となり、前年同期比で 0.24% 向上し、更なる財務の健全化をはかることができました。

この半期開示は、平成 16 年 8 月期より実施し、本年度も継続して積極的な情報開示につとめております。

今後とも、農家組合員及び地域の皆様とともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性・健全性の向上とサービスの提供につとめてまいりますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

J A しもつけ  
代表理事組合長 落 合 靖

## 2. 地域貢献に関する取り組み

### ●地域貢献の全般に関する事項

当JAは、栃木市、壬生町、岩舟町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。

当JAでは、以下の経営理念に基づき運営・経営にあたっております。

○農業の多面的機能を発揮し、自然との共生をすすめます。(農業・自然)

○安全・安心な暮らしを支援します。(生活)

○人と人のつながりを大切にします。(協同)

○健全で安定的な経営基盤を構築します。(経営)

当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としています。

当JAでは資金を必要とする組合員の皆様方や地方公共団体などにもご利用いただいております。

また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献につとめています。

		平成22年8月末	平成22年2月末
組合員数	正組合員	14,389人	14,426人
	准組合員	6,499人	6,446人
	合計	20,888人	20,872人
組合員戸数	正組合員戸数	11,504戸	11,433戸
	准組合員戸数	5,526戸	5,381戸
	合計	17,030戸	16,814戸
出資金		2,054百万円	2,055百万円

### ●地域からの資金調達の状況(平成22年8月末)

貯金・積金平均残高

組合員等 144,405百万円

その他 37,725百万円

合計 182,131百万円

☆上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金4,522百万円が含まれています。

このうちオリジナル商品は下記のとおりです。

プレ年金受給者向け年金定期積金及び年金定期貯金

子育て定期積金

●地域への資金供給の状況（平成22年8月末）

(1) 貸出金平均残高

組合員等	20,608 百万円
その他	9,111 百万円
合計	29,719 百万円

☆上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金4,883百万円が含まれています。

(2) 融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	15,681 百万円
教育ローン	53 百万円
自動車ローン	470 百万円
営農ローン	115 百万円
日本政策金融公庫資金	0 百万円
農業改良資金	8 百万円
農業近代化資金	497 百万円
畜産特別資金	—
災害条例資金	—
就農支援資金	128 百万円
その他	12,762 百万円
合計	29,719 百万円

上記のうち、「日本政策金融公庫資金、農業改良資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金、就農支援資金」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことをいいます。

制度融資には、大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体が利子補給を行う制度があります。

前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金、農業改良資金であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

●文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興をはかり、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。

このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。

組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

また、消費者の方に食の安全性を確認・検証してもらい、信頼関係を構築するための取り組みである、平成22年度「食と農業に関するモニター第1回現地交流会」を平成22年9月に開催しました。

そして、次代を担う児童・生徒たちに対しては、青果物集出荷場の見学や職場体験の実施、学校給食に地元農畜産物を提供したり、農業体験（田植え・稲刈り体験、トマト・ナス苗植え体験等）や地元食材を利用した料理体験（しもつかれ作り、イチゴジャム作り、親子うどん打ち教室等）、図画・作文コンクールの開催など、農業への関心を高める取り組みを行う一方、高齢者福祉事業の充実をはかり、各種サービスの提供も行っていきます。

更には、児童安全確保のため、配送用トラックや外務車両にステッカーを貼り、パトロール活動を行ったり、通学路に面したJA事務所を「避難の家」として提供するなど、積極的に地域安全活動につとめております。

あわせて、平成11年には「日光杉並木」のオーナーとなり、世界遺産を後世に残す取り組みの一翼を担うことで文化的貢献を果たすとともに、平成13年には産業組合法（農協法の前身）施行100周年を記念して、緑と環境を守るための植林事業を行い、以来、植林後の保全管理にもつとめています。

### (2) 利用者ネットワーク化への取り組み

当JAでは、組合員相互の親睦をはかるとともに、地域の皆様との結びつきを強化するため、毎年各地区で「JAまつり」を開催するなど、利用者ネットワーク作りへの取り組みを下記のとおりすすめています。

平成22年度 開催状況	参加人数	対象者	活動内容・実績	開始年度
ゲートボール 大会	地区単位の子選会には113名が参加し、10月26日の栃木県大会には7チーム46名が 出場。	年金友の会 会員	各地区単位で予選会を実施し、栃木県大会への参加チームを決定する。	平成11年
グラウンドゴルフ 大会	地区単位の子選会には637名が参加し、9月29日の栃木県大会には53名が 出場。	年金友の会 会員	各地区単位で予選会を実施し、栃木県大会への参加者を決定する。	平成11年

### (3) 情報提供活動

組合員の皆様向けに、毎月「JAだより」を発行して、JAの事業や地域の情報を提供しています。

また、地域住民の皆様への情報発信として、コミュニティー誌「しもつけめぐりくらぶ」を発行するほか、インターネット上にホームページを開設して、身近でタイムリーな情報提供につとめるとともに、皆様からの情報やご意見等をeメールでも受け付けています。

ホームページ <http://www.ja-shimotsuke.or.jp/>

eメール HP-INFO@ja-shimotsuke.or.jp

## (4) 店舗体制

## ①店舗及び事務所一覧

(平成22年10月末現在)

店舗及び 事務所名	住 所	電話番号	A T M 設置台数
本店	〒328-0053 栃木市片柳町2丁目1-44	0282-24-1180	1台
本店 営農部 経済部	〒328-0041 栃木市河合町3-26	0282-20-8828 0282-20-8826	
栃木東支店	〒328-0011 栃木市大宮町1420-1	0282-27-2525	1台
栃木西支店	〒328-0125 栃木市吹上町1183-2	0282-31-1794	1台
都賀支店	〒328-0103 栃木市都賀町原宿874-1	0282-27-5611	1台
壬生支店	〒321-0219 壬生町大字福和田1001-9	0282-82-1111	1台
大平支店	〒329-4421 栃木市大平町西野田20	0282-43-2344	1台
藤岡支店	〒323-1102 栃木市藤岡町赤麻1740	0282-62-4333	1台
岩舟支店	〒329-4307 岩舟町大字静880-1	0282-55-3333	1台
栃木地区営農経済センター	〒328-0011 栃木市大宮町1422	0282-27-6511	
都賀地区営農経済センター	〒328-0103 栃木市都賀町原宿864-1	0282-27-1881	
壬生地区営農経済センター	〒321-0219 壬生町大字福和田1001-9	0282-82-1103	
大平地区営農経済センター	〒329-4421 栃木市大平町西野田20	0282-43-0800	
藤岡地区営農経済センター	〒323-1102 栃木市藤岡町赤麻1740	0282-62-4336	
岩舟地区営農経済センター	〒329-4308 岩舟町大字下津原462-1	0282-55-3211	
ニューアプロニー	〒328-0041 栃木市河合町3-26	0282-22-8743	1台
葬祭センター	〒328-0012 栃木市平柳町2-15-24	0282-29-1788	
都賀給油所	〒328-0103 栃木市都賀町原宿872-1	0282-27-3522	
大平給油所	〒329-4411 栃木市大平町横堀787-1	0282-22-0946	
デイサービスセンター ひだまり	〒321-0221 壬生町大字藤井1645-3	0282-81-0377	

②店舗以外のATM設置台数一覧

(平成22年10月末現在)

名 称	場 所	A T M 設置台数
下都賀病院	栃木市富士見町 下都賀病院内	2台
旧寺尾支店	栃木市梅沢町	1台
旧国府支店	栃木市惣社町	1台
旧大宮支店	栃木市今泉町	1台
旧皆川支店	栃木市皆川城内町	1台
旧赤津支店	栃木市都賀町大橋	1台
旧家中支店	栃木市都賀町家中	1台
旧壬生支店	壬生町中央町	1台
旧稲葉支店	壬生町大字上稲葉	1台
旧南犬飼支店	壬生町大字安塚	1台
旧大平東支店	栃木市大平町上高島	1台
旧大平西支店	栃木市大平町富田	1台
旧大平南支店	栃木市大平町西水代	1台
旧三鴨支店	栃木市藤岡町甲	1台
旧部屋支店	栃木市藤岡町蛭沼	1台
旧藤岡南支店	栃木市藤岡町藤岡	1台
旧静和支店	岩舟町大字静和	1台
旧小野寺支店	岩舟町大字新里	1台

店舗以外のATM設置台数は19台です。

当JAのATMは全て手のひら生体認証対応です。

### 3. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

債権区分	平成22年8月末	平成22年2月末	増減	(参考) 平成22年8月末 購買未収金
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	747	809	△62	2
危険債権	225	333	△108	11
要管理債権	100	123	△22	—
正常債権	29,462	29,847	△385	794
合計	30,535	31,114	△578	808

(注) 1. 平成22年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分は、次のとおりです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。  
〔資産査定における破綻先、実質破綻先〕

②危険債権

・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。  
〔資産査定における破綻懸念先〕

③要管理債権

・3か月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権です。  
〔資産査定における要管理先債権額のうち3か月以上延滞貸出金及び貸出条件緩和貸出金〕

④正常債権

・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。地方公共団体等への債権も含まれております。

### 4. 自己資本比率

平成22年8月末	平成22年2月末
16.15%程度	15.94%

(注) 平成22年8月末の自己資本比率は、当JAの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

## 5. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	平成22年8月末	平成22年2月末	平成21年8月末
貯金	181,706	183,999	179,972
貸出金	29,764	29,766	30,005
預金	136,700	136,185	131,707
有価証券	10,696	13,698	12,694
(参考) 購入未収金	808	1,055	802

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価法適用後の残高です。

## 6. 有価証券等時価評価情報

(単位:百万円)

区分 項目	平成22年8月末			平成22年2月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	3,199	3,208	8	3,199	3,219	20
その他	7,497	8,057	560	9,994	10,499	505
合計	10,696	11,265	568	13,193	13,719	525

- (注) 1. 本表記載の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価により計上したものです。
2. 売買目的有価証券については、当JAでは投機的運用を行わないため保有しておりません。
3. 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

## 7. 平成22年度上半期のトピックス

時 期	内 容
平成22年	
3月10日～ 3月15日	<p>福田屋百貨店栃木店において農産物感謝フェアと住宅ローン「直売所巡りプラン」・定期積金「夢のサポート」のPRを行いました。</p> <p>6日間で約3,000人が来場し、朝取り野菜の直売、お米プレゼント、お菓子のつかみ取り、よい食プロジェクトやとちのう麦っすのPRも行いました。</p> <p>なかでも農産物直売は好評であったという間に売り切れる場面も見られました。</p>
4月 1日	<p>営農部内に農業生産法人設立準備室を設置しました。</p> <p>J A出資型農業生産法人を立ち上げるための諸準備をすすめています。7月中には組合員の意向調査のためのアンケートも実施しました。</p>
4月20日～ 5月31日	<p>平成22年度春爛漫特別金利定期貯金キャンペーンを実施しました。18億円の推進実績をあげ、貯金残高増加に寄与しました。</p>
5月25日	<p>第11回通常総代会を開催しました。</p> <p>平成22年度から平成24年度に渡る、新たな協同の創造第4次3か年計画が原案通り可決されました。</p>
6月18日	<p>アサヒビールに合うおつまみコンテスト予選会を開催しました。J Aしもつけ産の食材を使用し、アサヒビール商品との相性が良いもの4点が本選へ出場となりました。</p> <p>5J Aの代表が集った7月1日の本選では当J Aからの「なすの一口揚げ」が銅賞を受賞しました。</p>
7月22日	<p>平成22年度県下統一店舗コンクールにおいて岩舟地区営農経済センターが見事最優秀賞に輝きました。</p>
9月 6日	<p>当J Aのイメージキャラクターとロゴについて6月から3か月に渡り募集した結果、イメージキャラクター254件、ロゴ182件の応募がありました。</p> <p>応募の中から選考会を行い最優秀賞等を決定しました。</p>
9月12日	<p>ひらやなぎホールが新規オープンしました。これで管内の葬祭ホールは6店舗となりました。</p>

時 期	内 容
9月16日	平成22年度「食と農業に関するモニター第1回現地交流会」を開催しました。モニター登録した消費者とJA役職員ら30名が水代ライスセンターとアサヒビール茨城工場を訪問しました。
9月22日	ヨークベニマル栃木祝町店に生鮮野菜出荷を開始しました。地場野菜コーナーにおいて販売され、生産者個人の写真が掲載してあることにより消費者にとっては生産者の顔が見える農産物となっています。
10月23、24日	栃木地区営農経済センター特設会場にて「JAしもつけアグリサポートフェア2010」を開催しました。
10月30日	栃木駅北口前広場にて「第2回JAしもつけ感謝市」を開催しました。